

看護学研究科 学位論文（修士論文）・特別課題研究 審査基準

1. 修了基準について

- ①教育研究コースの者は、合計 30 単位以上修得し、かつ特別研究の審査に合格しなければならない。
- ②専門看護師コースの者は、合計 42 単位以上を修得し、かつ特定課題研究の審査に合格しなければならない。

2. 審査基準

学位論文（修士論文）
特別課題研究
審査の要点

学位申請者は、提出した修士論文に従い、研究内容を 20 分以内で説明する。

その際パワーポイントを使用することができる。

審査委員は、学位申請者の説明後、論文を中心に質疑を行い、学位申請者はそれに応答する。その他、領域に関連する内容について、適宜口頭によって質疑・応答を行い、修士課程の修了に値するものであるかを評価する。

修士論文（8 単位）審査の要点

1. 研究課題に対して問題意識は十分であるか。
2. 研究内容は看護学上の意義を有するか、あるいは看護実践の専門性の向上に意義を有するものであるか。
3. 研究内容は広い視野にたって応用性のあるものであるか。
4. 論文の構成および内容に研究課題が十分に盛り込まれているか。
5. 論文の主旨の展開は十分であるか。
6. 専門用語を正しく理解して活用しているか。
7. 論文には文献が十分に活用されているか。
8. 抄録には論文の内容が盛り込まれているか
9. 発表（説明）の内容は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。

特別課題研究（修士論文）（4 単位）審査の要点

1. 研究課題に対して問題意識は十分であるか。
2. 研究内容は看護実践の専門性の向上に意義を有するものであるか。
3. 論文の構成および内容に研究課題が十分に盛り込まれているか。
4. 専門用語を正しく理解して活用しているか。
5. 論文には文献が十分に活用されているか。
6. 抄録には論文の内容が盛り込まれているか。
7. 発表（説明）の内容は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。

看護学研究科 学位論文（博士論文） 審査基準

1.修了基準について	必修 10 単位、専攻する分野において選択 4 単位、合計 14 単位を修得し、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。
2.審査基準	
学位論文（博士論文） 審査の要点	<p>学位申請者は、提出した博士論文に従い、研究内容を 30 分以内で説明する。</p> <p>その際パワーポイントを使用することができる。</p> <p>審査委員（主査 1、副査 2）は、学位申請者の博士論文説明の後、論文を中心に質疑を行い、学位申請者はそれに応答する。</p> <p>以下の 1～5 について、S（90～100 点）・A（80～89 点）・B（70～79 点）・C（60～69 点）・D（59 点以下）の 5 段階評価を行う。</p> <p>5 項目すべてについて評価が C 以上であり、総合点が B（70～79 点）を合格とする。その際 6 の倫理的配慮において問題がないものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創造性・新規性 2. 論理性 3. 信頼性（信憑性）・妥当性 4. 看護学への貢献 5. 博士論文としての論述 6. 倫理的配慮・その他